



さあ、答え合わせをしよう！

第8週目 9/7 ⑧縄文時代(じょうもんじだい)からの出題

1. 塩づくりがはじまったのは、いつ？

正解:①縄文時代(じょうもんじだい)

※ココを見てね!▶調べてみよう～時代のながれ イラスト年表

獲物(えもの)を追いかけて移動(いどう)生活をしていた旧石器時代(きゅうせきじだい)から、縄文時代(じょうもんじだい)には、複数(ふくすう)の家族が一定(いってい)の場所にとどまって暮らすようになり、ムラができました。塩づくりをはじめ、食べ物を保存(ほぞん)するための貯蔵穴(ちょぞうけつ)や煮炊(にた)きをするための土器(どき)が登場(とうじょう)するの、縄文時代(じょうもんじだい)です。

2. 祈(いの)りの道具として使われた、土でできた人形(にんぎょう)は？

正解:②土偶(どぐう)

※ココを見てね!▶調べてみよう～時代のながれ 縄文時代 ④祈(いの)りと祭り

調べてみよう～もっと知りたい縄文時代 「土偶(どぐう)と石棒(せきぼう)」

「埴輪(はにわ)」は、弥生時代後期(やよいじだいこうき)以降(いこう)に作られたものです。古墳(こふん)の上やまわりにおかれた土製品(どせいひん)で、死者(しよしゃ)を弔(とむら)うためのものと考えられています。また、弥生時代(やよいじだい)に朝鮮半島(ちょうせんはんとう)から伝わった「青銅器(せいどうき)」は祭りの道具ですが、銅(どう)に少量の錫(すず)と鉛(なまり)をまぜた合金(ごうきん)です。なので、正解(せいかい)は②「土偶(どぐう)」ですね。

3. 地面を掘(ほ)ったくぼみに柱を立てて屋根(やね)をかけた住まいは？

正解:①たて穴建物

※ココを見てね!▶調べてみよう～時代のながれ 縄文時代 ③ムラをつくる

定住(ていじゅう)生活をするようになった縄文時代(じょうもんじだい)には、テントより丈夫(じょうぶ)な住まいがつくれるようになりました。「ほったて柱建物」は、その使われ方は主に倉庫(そうこ)でした。「ログハウス」は、北欧(ほくおう)を起源(きげん)に発達(はったつ)した建物で、日本で登場(とうじょう)するのはもっと後の時代です。したがって、正解(せいかい)は①「たて穴建物」ですね。 ※このWEBサイトでは、「たて穴建物(住居)」としてあらわしています。

4. 石をすり磨(みが)いて作った石器(せっき)は何という？

正解:③磨製石器(ませいせっき)

※ココを見てね!▶調べてみよう～時代のながれ 縄文時代 ①地球(ちきゅう)が暖(あたた)かくなったから

「打製石器(だせいせっき)」は、石を打ち割(わ)って作った石器(せっき)です。「サヌカイト」は、火山活動(かっしつ)でできた安山岩(あんざんがん)の一種で、ヤリ先や矢じりなど刃物(はもの)に使われた石そのものです。なので、正解(せいかい)は③「磨製石器(ませいせっき)」です。

5. 次のうち、縄文時代(じょうもんじだい)の船(ふね)の名前は？

正解:①丸木船(まるきぶね)

※ココを見てね!▶時代のながれ 縄文時代 ②自然の恵みをいただいて、生きる／イラスト年表

これは簡単(かんたん)でしたね。ちなみに、他の2つについてお話ししましょう。「カヌー(canoe)」についてはよくわかっていないことが多く、エジプト、中央アジア、東南アジア、オセアニア地域(ちいき)が起源(きげん)ではないかと言われていて、日本へは南方から伝わったとされています。語源(ごげん)はカリブ諸島(しよとう)の「カノア(canoa)」とされ、軽い小舟を指すスペイン語に由来(ゆらい)するそうです。また、「ヨット(yacht)」は、帆(ほ)で受けた風を推進力(すいしんりょく)に変えて走る船のこです。その原型(げんけい)は、7世紀頃のアラブのダウ船だと言われています。